

# 平成 25 年度事業報告

第 36 期(平成 25 年4月1日から 26 年3月 31 日まで)

## I 事業の状況

郷土おかやまの自然や文化的遺産に対する県民の理解を深め、保護・保全・景観の美化等に努めるとともに、郷土ゆかりの先賢の顕彰と、伝統に根ざした新たな地域文化の創造を目指し、県、市町村、民間団体等と連携して次の事業を実施した。

### 1 文化財等保護活用事業

#### (1) 自然保護事業

- ・蒜山タンチョウの里(真庭市)の支援

引き続き運営支援を行った。

- ・(公社)日本ナショナル・トラスト協会との連携

当財団の備中うるし復興事業等の情報提供を行うとともに、全国のトラスト活動について情報収集を行った。

#### (2) 伝統的工芸品復活・普及支援

備中漆の復活に取り組んできた(社)林原共済会を支援するため、当財団が平成6年から行っている真庭市(旧川上村)及び新見市の市有地(山林、計約 7.6ha)の無償借用を継続するとともに、(株)林原の破綻を受け、新たに岡山県や両市等と設立した備中うるし利活用協議会の事務局及び応分の経費を負担して、寄附を受けた林原共済会植栽漆の木の管理等の支援に努めた。また、“備中漆を守ろう！”募金を継続し、寄せられた 3,126,000 円(414 件、本年度 69 件 520,000 円)を備中漆の復興事業に有効に活用した。

#### (3) 文化財の保護

平成 22 年度に整備した池田光政公御涼所跡の「甘棠碑と遺愛<sup>かんとうのひ</sup> 榎碑<sup>いあいのもめのみ</sup>」及びウメ(花香実)の広報並びに地元町内会等と協働して維持管理に努めた。

#### (4) 文化財庭園「後楽園」の活用と伝統の維持、普及

伝統的な行事等を行い、岡山後楽園の活用と伝統の維持に努めた。

- ・「岡山後楽園で能をたのしむ会」の開催

岡山後楽園能舞台 10 月5日(土)

番組 能 「楊貴妃」、「熊坂」

出演者 観世流 山崎 芙沙子、山崎 浩之ほか

狂言 「清水」

出演者 大蔵流 茂山 宗彦ほか

解説 京都府立大学教授 山崎 福之

なお、一般鑑賞者に加え、岡山大学国際センター留学生22人(招待)、国際ロータリークラブから10人の外国人が観賞した。

・茶つみ祭 5月19日(日)

美作市海田茶摘み踊り保存会

・お田植え祭 6月9日(日)

哲西町はやし田植保存会、神代郷土民謡保存会(いずれも岡山県指定重要無形民俗文化財)

・観蓮節 7月7日(日)

・「後楽園挿し木教室」の開催 7月9日(火)

・「後楽園竹筒作り教室」の開催 10月8日(火)

・後楽園寄植え教室 12月10日(火)

・「後楽園芝張り替え教室」2月13日(木)

・名月観賞会 9月19日(木)(旧暦8月15日)

・キラリ清掃活動 年21回及びキラリ応援隊一日隊 12月1日(日)

ボランティアによる園内の一斉清掃、参加者には後楽園無料入園券を1枚進呈

・後楽園写真展～後楽園の四季と行事～12月21日(土)～1月13日(月・祝)

・第3回後楽園写真コンテスト

募集期間7月1日(月)～9月27日(金)

第3回後楽園写真コンテスト 入賞作品48点を展示

#### (5) 後楽園専任ボランティア「後楽塾」9期生の育成

後楽園及び郷土岡山の歴史・文化について学び、その知識を活かしながら、園内ガイドやイベントスタッフとして活動する「後楽塾」9期生を育成し、広く文化財庭園「後楽園」の魅力を発信した。

・募集 9月1日(日)～10月31日(木)

・塾生 8人

内訳 一般コース 8人(男性 4人・女性 4人)

・入塾式 11月27日(水)

3月までに13回の基礎講座を終え、3月20日(木)から園内ガイドや行事補助などのボランティア活動を行う。活動期間は、平成28年3月31日まで。

- ・8期生(13人)が塾生として活動中 平成26年8月31日までの2年間
- ・7期生卒塾記念特別ガイド「藩主が座敷から眺めた岡山後楽園の景色」

6月18日(火)

23年5月入塾、25年8月31日(土)卒塾、18名(男9名、女9名)

(6) 岡山後楽園 延養亭特別公開と園内ガイド

岡山県と共催で一般を対象に特別公開を実施

延養亭の室内と、延養亭に隣接する茶室「臨漪軒」(非公開)の解説を交えての見学会

- ・延養亭特別公開と園内ガイド 10月21日(月)～27日(日)

午前10時からと午後2時からの1日2回(各1時間程度)

各回15名(総計 113名)

(7) 第118回日文研シンポジウム「大名庭園の新発見」への参加

大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国際日本文化研究センター(京都市)開催の共同研究シンポジウムにおいて「岡山藩、岡山後楽園」について万城主任研究員が発表し、全国にアピールした。11月10日(日)

(8) 先賢の顕彰

1) 郷土ゆかりの先賢顕彰

- ・財団が多くの資料を収集している内田百閒についてテレビ、ラジオ番組等で紹介
- ・明治天皇百年祭記念第2回「明治天皇六大巡幸展」へゆかりの「人形手の茶碗」出展

場 所 明治神宮文化館宝物展示室

期 間 10月12日(土)～11月24日(日)

(注)六大巡幸とは、明治5(1872)年の九州・西国、同9年の東北・北海道、同11年の北陸・東海道、同13年の甲州・東山道、同14年の山形・秋田・北海道、同18年の山口・広島・岡山、合計6回の巡幸のことで、岡山県巡幸の際、岡山市三幡港に上陸し、後楽園延養亭を行在所として岡山市内を巡見し、上道郡一日市(御休村)、西片上、三石を巡幸された。「人形手」とは中国、明代の青磁の一。多く、内面に人物をほぼ等間隔に型押ししてあるのでいう。

2) 秋の企画展関連イベント 「和文化を楽しむ会」の開催

犬養木堂生家及び木堂塾において「和文化を楽しむ会」を開催し、「犬養木堂」の事績と記念館、生家の魅力発信に努めた。

日 時 10月27日(日) 10時～15時

会 場 犬養木堂記念館内 木堂生家 木堂塾

協 力 一絃琴一藤会・後楽園遊扇会

3) 「内田百閒」の顕彰

内田百閒記念碑園(岡山市中区旭川河川広場)の維持管理を行うとともに、近接する三光荘内の「内田百閒コーナー」に財団所蔵の百閒ゆかりの品を展示(3回展示替)した。  
なお、同コーナーは三光荘の閉鎖に伴い、3月末で廃止。

## 2 普及啓発事業

(1) 郷土文化講座等の開催

岡山の自然・歴史・文化等について理解を深めるため、岡山の自然・文化・歴史に関する講座を開催した。

1) 岡山県立図書館会場

ア 1月21日(火)

「山陽放送のあゆみ」

講 師 原 憲一 (山陽放送株式会社代表取締役社長)

参加者 86人(うち会員62人)

イ 2月4日(火)

「閑谷学校に托した津田永忠のこころ」

講 師 竹内 良雄 (元閑谷学校資料館館長)

参加者 112人(うち会員69人)

ウ 2月18日(火)

「身近な自然をまもり残すために～重井薬用植物園の50年」

講 師 片岡 博行 (重井薬用植物園園長)

参加者 80人(うち会員63人)

エ 3月4日(火)

「備中漆・林原の支援を受けて」

講 師 小野 忠司 (備中漆新見研修所「漆の館」館長)

参加者 66人(うち会員41人)

2) 木堂祭、犬養木堂記念館講演会の開催

・木堂祭記念講話(5月15日)

演題 「岡山県における犬養木堂と支持者たち」

講師 時任 英人（倉敷芸術科学大学教授）

その他の催し お抹茶の接待・箏の演奏・生け花の展示

3) 犬養木堂記念館 開館20周年記念「文化講演会」

日時 11月3日(日)13時30分～15時

会場 犬養木堂記念館内 木堂塾

演題 英雄の胸中に閒日月有り—犬養木堂の翰墨生活—

講師 杉村 邦彦（関西大学文学部客員教授・京都教育大学名誉教授、四国大学  
名誉教授・書論研究会会長）

4) 岡崎嘉平太記念館講演会の開催

・「岡崎嘉平太がめざした 世界平和への道を考える」第十二回講演会

日時 11月10日(日) 13時30分～16時

会場 吉備高原リゾートホテル 多目的ホール(きびプラザ3階)

演題① 一企業人として、一市民として

講師 横枕 光則（元北京・松下彩色顕像官有限公司総経理）

演題② 大学生からみた日中友好

講師 清水 勇佑（京論壇2013日本側実行委員会代表 東京大学法学部4年）

(注)京論壇(きょうろんだん)は、2005年に東京大学と北京大学の学生によって結成された国際学生討論団体。両大学の学生それぞれ10数名が、互いの国に1週間ずつ滞在し、日中間に横たわる様々な問題について英語で本音をぶつけ合い、徹底的に議論することにより互いに協力して未来を創ること(共創未来)を目的とする。

5) 第三回おかやま文化フォーラム「見えてきた古代吉備の実像」の開催

主催 岡山県、郷土文化財団、おかやま県文祭実行委員会

日時 11月9日(土)13時～

場所 津山文化センター（津山市山下）

基調講演 「美作建国と律令国家」

佐藤 信（東京大学大学院教授）

発表 「吉備と美作の記憶」

尾島 治（津山郷土博物館館長）

美作人から見た「吉備」の存在や美作という地域が形作ってきた人々の意識について

鼎 談 「美作国と古代吉備」

司 会 神崎 宣武（民俗学者）

それぞれの立場で、美作国と古代吉備について語った。

参加者 約300人

(2) 広報誌「きび野」の発行

年4回発行 A5判 約16ページ 4,500部/回

(3) 財団ニュース「お知らせ」の発行 2,800部/回

会員に財団事業の案内等、随時発行・インターネット公開

(4) 現地研修会の開催

郷土ゆかりの自然や文化財等を現地に訪ねて学習するとともに、県内美術館、博物館の優れた美術品の鑑賞会等を開催した。

1) 自然と文化を訪ねるバスの旅

ア 津山城下町を歩くコース

津山市 4月26日(金)

津山郷土博物館、衆楽園、城東町並み保存地区

説 明 尾島 治（津山郷土博物館館長）等

参加者 82人(うち会員 70人)

イ 天領大庄屋の西江邸と商家の町吹屋を訪ねるコース

高梁市 6月19日(水)

案 内 西江 晃治・薫子（西江邸）

伊達 昌弘、三浦 孝章（高梁市教育委員会社会教育課、吹屋小学校）

参加者 88人(うち会員 74人)

ウ 「井原市制施行60周年記念「彫刻家・高村光太郎展」鑑賞会(後掲)

エ 「Japan一漆の世界」解説会(岡山県立博物館)及び「備中漆を辿るコース」(後掲)

オ おかやま文化フォーラム関連事業「古代吉備(美作)をめぐるコース

津山市 10月29日(火)

解 説 小郷 利幸（弥生の里文化財センター所長）

美作国府跡、総社宮、国分寺跡のほか、津山市郷土博物館で開催の「土

の棺に眠る～美作の陶棺～」展を観覧

参加者 35人(うち会員 33人)

カ 「宿場町矢掛を訪ねる」特別現地研修会

小田郡矢掛町 3月8日(土)

案 内 繁森 良二 ((株)やかげ宿代表取締役専務)ほか

旧山陽道矢掛宿本陣、脇本陣等

参加者 55人(うち会員 53人)

キ 「倉敷の町並みを歩く」現地研修会

倉敷市美観地区等 3月20日(木)

案 内 上田 恭嗣 (ノートルダム清心女子大学教授)

薬師寺主計が設計した大原美術館、中国銀行倉敷本町出張所等

参加者 36人(うち会員 32人)

## 2) 美術等鑑賞会

ア 岡山県立美術館

・「美作国建国 1300 年協賛 美作の美術展」及び「漆芸家難波仁斎生誕 110 年記念回顧展」鑑賞会

① 重要文化財《木造十一面観音立像》(安養寺所蔵)、鍛形蕙斎(くわがたけいさい)筆《江戸一目図屏風》(津山郷土博物館所蔵)をはじめ、宮本武蔵や棟方志功らの近世・近代絵画、洋学資料などで美作国の幅広い歴史や文化をたどり、多彩な美術を紹介

② 昭和 37(1962)年第 9 回日本伝統工芸展で本県から初の日本工芸会総裁賞を受賞し、同 39(1964)年独自に考案した『描蒔醬(かききんま)技法』で県指定重要無形文化財の認定を受けた難波仁斎の生誕 110 年を記念し、日本工芸会総裁賞を受賞した『描蒔醬(かききんま)竹林文卓』ほか作品や資料約 160 点を展覧

6月11日(火)

講 師 中村 麻里子 (県立美術館主任学芸員)、福富 幸 (同主任学芸員)

参加者 42 人(うち会員 26人)

イ 岡山県立博物館

・「美作国建国 1300 年記念事業 美作の名宝」解説会

絹本著色阿界曼荼羅(まんだら)図(国重文、南北朝～室町時代、美作市長福寺蔵)、木造獅子頭(国重文、1685年、美咲町八幡神社蔵)など美作地域にゆかりのある、国や岡山県指定の

重要文化財を中心に貴重な文化財を一堂に公開

8月1日(木)

講 師 竹原 伸之 (県立博物館学芸課副参事)

参加者 39人(うち会員 26人)

・「Japan—漆の世界—」解説会及び「備中漆を辿るコース」

- ① 岡山県重要無形民俗文化財・郷原漆器(真庭市)の復興 25 周年と備中漆の復興 20 周年を記念して開催。考古資料から人間国宝(重要無形文化財保持者)の作品まで150件を展示。併せて備中漆や郷原漆器をはじめとする、漆に関するさまざまな資料を一堂に展示

講 師 佐藤 寛介 (県立博物館学芸員)

- ② 真庭市蒜山、郷原漆器の館ほか現地研修会

説 明 高月 国光 (郷原漆器の館館長)

小野 忠司 (備中漆新見研修所「漆の館」館長)

10月24日(木)

参加者 24人(うち会員 23人)

ウ 倉敷市立自然史博物館、高梁市成羽美術館

「昆虫とあそぼうよ」(倉敷市立自然史博物館)及び「KASEKI—カセキはキセキの贈りもの」(高梁市成羽美術館)学習会

7月20日(土)

説 明 奥島 雄一 (倉敷市立自然史博物館学芸員)

林原自然科学博物館スタッフ (高梁市成羽美術館)

参加者 27人(うち会員 13人)

エ 井原市立田中美術館

井原市制施行60周年記念「彫刻家・高村光太郎展」鑑賞会

『道程』(1914)、『智恵子抄』(1941)などの詩業で知られる高村光太郎(1883-1956)の原点ともいえる木彫作品をはじめ、彼が参照したロダン(1840-1917)や同時代の佐藤朝山(1888-1963)、中原悌二郎(1888-1921)などによる作品と妻・智恵子(1886-1938)が制作した紙絵をあわせて展示。

美術館周辺のまちかど展示の彫刻及び樋之尻観音(嫁いらず観音院)見学

9月20日(金)

講 師 青木 寛明 (田中美術館学芸員)



参加者 47人(うち会員 41人)

(5) 印刷物等の作成

財団で収集した資料や開催した講演記録等を編集して配布した。

1) 「岡山の自然と文化」の印刷配布

平成24年度郷土文化講座の講義録 No.33 を編集、配布した。

3, 500部(3月)

2) 「岡崎嘉平太がめざした世界平和への道を考える 第十二回講演会講演集」

500部(3月)

(6) 「文化財団の歩み」の編集

引き続き財団発足以来の歴史を編集した。

(7) インターネットのホームページ更新

財団事業の普及を図るため、ホームページの充実を行った。

(8) 内田百閒及び生田安宅(医学者)資料の整理保存

御遺族などから寄贈された内田百閒及び生田安宅ゆかりの品々を整理保存した。

(9) 財団収集資料の公開

引き続き、収集資料の寄託による公開等を行った。

1) 植物関係図書・文献の整理公開

・植物研究家難波早苗氏から譲渡された資料(書籍約 5,300 冊、雑誌約 7,000 冊)を県立図書館に寄託

・植物標本(約 3,300 点)を岡山県自然保護センターに寄託

2) 郷原漆器資料の公開

財団が郷原漆器復活のために収集した郷原漆器(約 60 種類、約 700 点)を岡山県立博物館に寄託

・平成25年度特別展「Japan—漆の世界—」での郷原漆器資料の展示

岡山県立博物館で10月11日(金)～11月17日(日)

3) 郷土画家の秀作の公開

財団が購入及び寄贈を受けた郷土画家の秀作(6人、10点)を岡山県立美術館に寄託

(10) 資料収集・調査研究

文化財等や先賢に関する資料の収集、保存を進めるとともに、その成果の活用に努める。

・犬養木堂関係資料

土屋美恵氏から寄贈 犬養毅書額  
難波昌和氏から寄贈 犬飼松窓書額等  
河合稔子氏から寄贈 犬養毅書簡ほか  
坂田光優氏から寄贈 五・一五事件裁判号外新聞  
江口 央 氏から寄贈 犬養毅書額  
山本啓介氏から寄託 孫文ら書簡貼り合わせ軸  
三宅信子氏から寄贈 犬養毅、健書簡等  
・岡崎嘉平太関係資料  
吉備中央町教育委員会から寄贈 書額等  
公益財団法人岡崎嘉平太国際奨学財団から寄贈 書額、色紙等

### 3 地域文化振興事業

#### (1) 演奏会等の開催

・クリスマスコンサート

日 時 12月21日(土) 14時～16時

会 場 勝央文化ホール(勝央町勝間田)

内 容 倉敷管弦楽団による「禿山の一夜」、フルートとハーブと弦楽器による「グリーンズリーヴズ」、弦楽器のみの「四季」、そしてオーケストラ編成に種々の打楽器が加わった「クリスマスメドレー」等のコンサート

共 催 勝央町・勝央町教育委員会

#### (2) 伝統的工芸品保存事業

岡山県指定重要無形民俗文化財(民俗技術)に指定された郷原漆器展示即売会 郷原漆器約300点を一堂に展示即売の「おしらせ」等による広報面での支援を行った、

期 間 12月16日～18日

場 所 晴れの国おかやま館(岡山市北区表町)

期 間 1月17日～23日

場 所 倉敷天満屋4階美術画廊

#### (3) 各種団体との共催事業等

##### 1) 第28回「下津井節全国大会」の共催

9月28日(土)・29日(日)

場 所 倉敷市児島文化センター

主 催 下津井節振興会、児島瀬戸大橋まつり振興会

2) 平成25年度「岡山県自然保護センター写真展」の協賛

募 集 4月1日(月)～11月20日(水)

26年中に「岡山県自然保護センター」、「赤磐市立中央図書館」、「天満屋  
地下タウン アートスペース」で展示予定

主 催 岡山県自然保護センター、公益財団法人岡山県環境保全事業団

3) 後援

「日本アニメーション美術の創造者 山本二三展」ほか49事業

(4) 郷土文化財団会員作品展の開催

県内各地で様々な文化的創作活動が促進されるよう、財団会員により制作された絵画や写真等の作品を紹介する展覧会を開催した。

・天神山プラザ

会 期 5月21日(火)～26日(日)

出 品 135点(絵画91点、写真43点、その他1点)

入場者 870人

(5) 苗木配布事業

古くから親しまれてきたサクラ・ウメの苗木を市を通じて地元コミュニティに交付した。

・津山市(津山市神代梅の里)

鹿児島紅梅 100本

・浅口市(浅口市藤波池キャンプ場)

ソメイヨシノ 50本 ヤマザクラ 50本 計100本

#### 4 受託事業

(1) 後楽園の管理運営

「後楽園」の管理を県から受託し、実施した。

(2) 自然保護センターにおけるタンチョウ飼養管理及び傷病鳥獣の保護、入園者に対するガイド・指導等

(公財)岡山県環境保全事業団から受託し、実施した。また、真庭市での蒜山タンチョウの里(25年3月オープン)の運営を支援した。

(3) 犬養木堂記念館、生家の管理運営

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館、生家の管理運営及び資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

1) 第19回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展

4月3日(水)～5月6日(月)

特別賞 25点 入賞 412点 入選 400点

2) 一品展23 6月1日(土)～30日(日)

木堂が児島出身の三宅喜代太氏に宛てて書いた木堂先生行書(山雄雲気深)を展示

3) 夏の特別展「木堂の学んだ三余塾」7月24日(水)～9月1日(日)

幕末から明治にかけて現在の倉敷市山地にあった私塾「三余塾」と木堂の恩師であり、塾を開いた犬飼松窓について関係資料を展示

犬飼松窓肖像画、犬飼松窓書軸、三余塾で使用していた書籍ほか

4) 秋の企画展「犬養木堂の文人趣味」10月12日(土)～12月8日(日)

木堂書簡、木堂宛書簡、愛用の硯、木堂秘蔵定武蘭亭北宋諸跋巻など書家としての木堂の趣味に対する姿勢や文人としての交流を紹介

5) 秋の企画展関連イベント「和文化を楽しむ会」(再掲)

6) 犬養木堂記念館 開館20周年記念「文化講演会」(再掲)

7) 常設展 新春特別陳列 1月5日(日)～1月20日(月)

木堂の年賀状や元旦と題した書、犬飼松窓や福沢諭吉など木堂の恩師に関する資料を展示

8) 一品展24 1月25日(土)～2月23日(日)

展示品 木堂が当時岡山の主要物産の一つであった麦稈真田(ハッカサナダ)の組合、真田同業組合のために書いた書額「業精于勤」

9) 第20回 犬養木堂顕彰児童生徒書道展 作品募集、審査表彰

3月1日(土) 表彰式

(4) 岡崎嘉平太記念館の管理運営及び資料収集整理並びに企画展

先賢を顕彰するため指定管理者として記念館の管理運営、資料収集整理並びに企画展等の業務を実施した。

1) 嘉平太のふるさと作品展「青馬窯陶芸教室作品展」

4月10日(水)～4月21日(日)

2) 第6回「嘉平太が愛したふるさと岡山 心なごむ風景 写真展」

- ・岡崎嘉平太記念館会場  
5月18日(金)～7月1日(日)
- ・天満屋地下タウン アートスペース会場  
7月4日(水)～7月9日(月)
- 3) 夏の特別企画展 「LPレコードジャケット展」  
LPジャケットで迎える世界の音楽～アジアを中心に～  
8月7日(水)～8月18日(日)
- 4) 第3回 岡崎嘉平太遺墨展-書にこめた嘉平太からのメッセージ-  
9月22日(日)～12月27日(金)
- 5) 岡崎嘉平太記念館所蔵品展「中国戯曲服装図案展」  
1月25日(土)～2月24日(月)  
岡崎嘉平太氏の遺品「中国戯曲服装図案」(中国・人民美術出版社出版)を中心に  
中国の工芸品等を紹介
- 6) 第6回「嘉平太が愛したふる里 子ども作品展」  
3月1日(土)～3月9日(日)
- 7) 嘉あちゃんのふる里でふれあい座談会～横枕光則さんをお迎えして～  
場 所 ロマン高原かよう総合会館 (加賀郡吉備中央町)  
日 時 3月15日(土) 午後1時30分～3時30分  
吉備中央町中学生8人が訪問した中国淮安市などでの交流活動発表及び  
意見交換等
- 8) 「岡崎嘉平太記念館だより」の発行(7月・1月)
- (5) 第十二回 岡山県「内田百閒文学賞」の審査・表彰  
文学賞作品募集等に関する業務を県から受託し、今年度は作品募集・広報業務等  
の企画・運営を行った。  
・応募作品 53編